

第2次山梨県食の安全・安心推進計画に係る数値目標の達成状況（令和3年度：計画最終年度）

○各指標項目ごとの達成状況

◎：目標を達成した項目 ○：目標を達成していないが、取組が進んだ項目 △：目標を達成していない項目 -：評価できない項目

重点項目	NO.	指標項目	策定時 (H27)	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	数値目標 (R3)	達成状況	第2次計画の評価	関係課室
(1) 監視指導等に基づく「生産」から「消費」に至る食品の安全性の確保	1	食品衛生監視指導計画に基づく標準監視回数達成率	115%	130.1% (達成)	111.4% (達成)	127% (達成)	68.9%	72.0%	100%	△	新型コロナウイルス感染症が発生する前は目標を達成していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により監視率が目標を下回った。（新型コロナウイルス感染症の影響により、保健所業務が逼迫し監視率が目標を下回った。）	衛生業務課
	2	給食施設巡回指導の計画の実施率	-	101.7% (達成)	100.9% (達成)	104.6% (達成)	89.9%	77.8%	100%	○	給食施設の状況に応じた指導・支援ができていない（令和2・3年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により計画の変更を余儀なくされたが、電話やオンラインの活用により、それを補完する対応ができた。保健所が給食施設に提出を求める栄養管理報告書の報告内容や巡回指導の結果を分析し、給食施設の資質向上を図る必要がある。	健康増進課
	3	やまなしGAP等認証数 (累計) (策定時：GAP(農業生産 工程管理)の導入産地 数)	30産地	31件	80者	130者	182者	240者	200者 (R4 240者)	◎	安全・安心な農産物の供給のため、GAP指導体制づくりやGAP認知度の向上のための研修を実施し、「やまなしGAP」等のGAP認証を推進した。	農業技術課
			【参考指標】 年40者増			120者	160者	200者				
	4	有機農業の取り組み面積	132ha	160ha	181ha	204ha (達成)	204ha (達成)	233ha	200ha	◎	環境保全型農業直接支援交付金による支援や有機農業地域普及展示会における先進的な栽培技術の共有、有機農業アカデミーでの販路拡大に向けた情報共有等により、有機農業の取り組み面積の増加につなげることができた。	農業技術課
			【参考指標】 年14ha増	146ha	160ha	174ha	188ha	202ha				
5	HACCPの普及啓発に係る講習会参加者数	8,335人	8,433人	延べ 16,833人 (H29~H30)	延べ 24,255人 (H29~R1)	延べ 25,275人 (H29~R2)	延べ 29,187人 (H29~R3)	延べ 42,000人 (H29~R3)	△	新型コロナウイルス感染症の影響により、感染拡大防止対応や保健所業務逼迫により、講習会が開催できず目標を下回った。	衛生業務課 甲府市生活 衛生業務課	
		【参考指標】 年8,400人増	8,400人	延べ 16,800人 (H29~H30)	延べ 25,200人 (H29~R1)	延べ 33,600人 (H29~R2)	延べ 42,000人 (H29~R3)					
(2) 食品に関する正確な情報の提供	6	食の安全・安心ポータル サイトアクセス数	11,079件	13,822件 (達成)	11,589件	10,823件	6,978件	7,976件	12,000件/ 年	△	随時内容を更新し、かいじ号やくらしの情報、講習会等でサイト周知を行ってきたが、アクセス数が伸び悩み目標を達成できなかった。今後は、掲載内容の検討や、食育インスタグラムの活用、政府公式制度検索サイト（マイ制度ナビ）への掲載等により周知を行っていく	県民生活安全課
			【参考指標】 年427件増	10,721件	11,148件	11,575件	12,000件	12,427件				
	7	食品表示合同調査による 食品の適正表示実施率 100%の地域店舗の割合	76%	70.0%	77.9%	85.3% (達成)	86.6% (達成)	77.0%	85%	◎	店舗により適正表示の実施率に差があるため、引き続き調査を実施し、表示方法の周知と指導を実施する必要がある。	県民生活安全課
			【参考指標】 年1.3%増	81.2%	82.5%	83.8%	85.1%	86.4%				
	8	食品表示ウォッチャーか らの報告件数	4,146件	2,738件	2,943件	7,781件 (達成)	6,256件 (達成)	7,263件 (達成)	4,350件	◎	ウォッチャー向け研修会の開催などによる意識の啓発により、ウォッチャーからの報告件数の目標を達成することができた。県民参加による監視活動は、県民や事業者の食品表示への意識を高めるために一定の効果が得られた。	県民生活安全課
			【参考指標】 年41件増	4,187件	4,228件	4,269件	4,310件	4,351件				

○各指標項目ごとの達成状況

◎：目標を達成した項目 ○：目標を達成していないが、取組が進んだ項目 △：目標を達成していない項目 ー：評価できない項目

重点項目	NO.	指標項目	策定時 (H27)	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	数値目標 (R3)	達成状況	第2次計画の評価	関係課室
(3) 関係者間の相互理解の増進、信頼関係の構築	9	リスクコミュニケーションの機会への参加者数	705人	1,398人 (達成)	1,245人 (達成)	1,223人 (達成)	20人	230人	730人	○	コロナ禍により、集客を図るイベント開催が困難となり、令和2～3年度は目標未達成となったものの、オンラインでの研修会の実施など、継続的な取組の推進が図られた。今後は消費者の関心に即した内容と周知方法を更に検討し、実施する必要がある。	県民生活安全課
	10	学校給食における地場産物の使用割合(食材ベース)	23%	31.7% (達成)	23.6%	27.5%	調査不実施	調査不実施	30%	ー	新型コロナウイルスの発生により調査不実施や文部科学省からの調査内容が食材ベースから金額ベースへと変更となり、評価ができない状況となった。しかし、R3年度から新たに「やまなし学校給食地場産物利用促進月間」を6月、11月実施し、農政部の担当者が直接学校給食センター等に訪問し、相互理解の増進、信頼関係の構築を図ることができた。 (※文部科学省からの調査内容の変更に伴い、R3年度以降から食材ベースから金額ベースへと目標指標が変更となる。) ⇒食育推進計画の数値目標へ	保健体育課
	11	県内店舗における原産地に関する詳細な情報提供の実施率(指定する5種類)	ー	53%	47%	59%	84.2% (達成)	78% (達成)	70%	◎	食品表示法改正の周知を図ったことにより、目標数値は達成したが、食品表示法の改正により、全ての加工品の原料原産地表示が義務づけとなったため、詳細な表示がなされるよう引き続き周知を行う。	県民生活安全課
【参考指標】 年14%増			14%	28%	42%	56%	70%					
(4) 食の安全・安心を総合的に推進するための体制整備等	12	農業管理指導士・農業適正使用アドバイザーの有効認定者数	486人 (H23～27の 平均値)	515人 (達成)	509人 (達成)	483人	502人 (達成)	512人 (達成)	500人	◎	毎年度計画的に認定研修会を実施し、計画通り認定者を確保できた。	農業技術課
	13	食育推進ボランティア(食生活改善推進員を除く)の登録者数	1,284人	1,759人 (達成)	1,665人 (達成)	1,512人 (達成)	1,438人 (達成)	1,383人	1,400人	○	計画期間を通して概ね目標を達成できた。令和2年度以降は、コロナの影響で、学生ボランティア等による食育活動はほとんど実施することができなかったが、今後もボランティア制度の周知と活用支援を引き続き行っていく。	県民生活安全課

○推進計画における数値目標に対する達成状況

区分	項目数	構成比(%)
目標を達成した項目	6	46%
目標を達成していないが、取組が進んだ項目	3	23%
目標を達成していない項目	3	23%
評価できない項目	1	8%
計	13	100%